



短期滞在手術(大腸ポリープ切除)後の患者様へ

大腸の病変の処置(生検・ポリープ切除術)には、①後出血や、出血による血圧低下や、②穿孔による腹痛・腹膜炎 ③そのほかの体調不良(痛みや発熱など)が、少ない頻度ながらどうしても付き物です。

術後10日ほどは、(1)激しい運動をさけ、重いものを持たないように(2)残差の少ない消化の良い食材・メニューを食する(検査前の検査食などを)・お酒を避けるようにお願いします。(4)また入浴は、最初4日ほどは湯舟(熱いお湯)を避けてシャワーにしてください。(5)2週間程度は旅行・出張などは控えて頂き、何か不安なことがありましたら、まずは当院にお電話ください。**24時間体制(夜間・休日)で、当院代表受付電話(03-5959-7705)**は転送電話として院長が携帯電話にて対応致します。

当院(いとう王子神谷内科外科クリニック)は、地域の3次救急を要する高次医療施設である帝京大学医学部附属病院と医療連携をしております。連携医療施設・連携登録医として登録されているため、患者様の重症な場合、入院が必要な場合、高度な緊急医療が必要な場合などには、当院に御連絡を下さい。

移動中・会議中など電話に出られない場合は折り返しのショートメールか、電話にて対応し、急変時に滞りなく1次対応、もしくは連携医療施設を御案内・もしくは紹介・もしくは転医を行う体制としております。①帝京大学医学部附属病院代表: TEL:03-3964-1211

他にも転医先として、

同じく連携医療施設の、②東京北医療センター(連携登録医) 03-5963-3311

および③明理会中央総合病院(連携登録医) 03-5902-1199

なお、呼吸・循環状態の存在が微弱・不明瞭・不安定など、極めて急を要する場合は、上記3病院(連携医療施設)をはじめとして、救急医療施設に救急搬送・受診していただき、同時に、もしくは直後に当院に御連絡を頂ければ、当院から連携医療施設に同時並行にて、緊急で収容先医療施設に、可及的速やかに詳細な診療情報提供を致します。

2018.4.01 いとう王子神谷内科外科クリニック 院長 伊藤